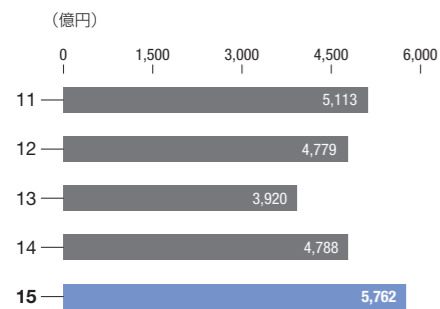


部門別営業概況および事業展望

売上高

半導体製造装置



売上高構成比



事業環境

2014年の世界半導体市場は、スマートフォン等のモバイル端末の台数成長が前年比約23%増加と好調であったことに加えて、インターネット通信量の拡大に伴うデータセンター向けサーバー需要に支えられ、前年比約8%増加の3,400億米ドルとなる過去最高の売上高を記録しました。これを受けて、モバイルDRAMやNANDフラッシュメモリの増産投資が活発化しました。またロジック半導体についても、好調なサーバー需要等に支えられ、設備投資は堅調に推移しました。これらの結果、2014年の世界の半導体前工程設備投資は、前年比約16%増加と大幅に拡大しました。

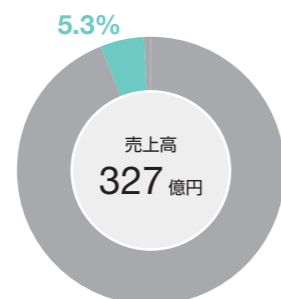
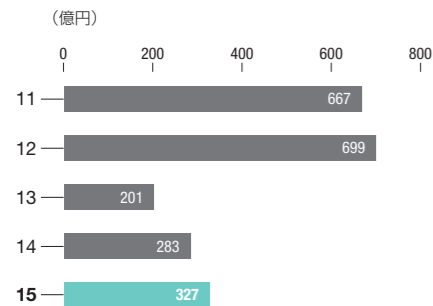
営業概況

- ▶ 部門売上高：半導体前工程製造装置市場の成長率を上回る、前年比20.3%増加の5,762億円
- ▶ 全製品群のシェアが改善、半導体前工程製造装置市場の全体に対するシェアが10.5%から13.6%に向上
- ▶ 洗浄装置のシェアは過去最高の25%を達成
- ▶ フィールドソリューション事業(パーツ・中古機の販売、改造・保守サービス等)の売上高が前年比35%以上増加

事業展望

モバイル端末やサーバー1台当たりのメモリ搭載量の増加や、いわゆるIoT (Internet of Things) の登場とビッグデータの高度利用、それらを支えるネットワークの急速な発展により、今後も半導体の需要は拡大し続けることが予想されます。その実現には、半導体デバイスの一層の高性能化と低コスト化が必要不可欠であり、半導体製造装置の果たす役割はますます重要性を増しています。当社は、こうした技術の変革点を事業拡大の好機と捉え、積極的に高性能、高生産性の新製品を投入していきます。微細なパターン形成には、欠陥低減機能を備えたコータ/デベロッパや微細パターンの倒壊を抑制する枚葉洗浄装置、またマルチパターニング工程拡大により一層の需要増加が見込まれるエッチング装置や成膜装置などで収益拡大を図ります。また、デバイスの3次元化や新しい半導体材料の採用に対しては、高い薄膜制御・加工技術を有するALD成膜装置、エッチング装置、ドライ洗浄装置などでシェア向上を目指します。次世代メモリの有力候補であるSTT-MRAMについては、コアとなる記憶素子の形成に必要な製品を全て保有している強みを活かし、顧客や大学、各コンソーシアとの共同開発を通じて、STT-MRAMの実用化に向けた量産技術の確立を目指します。先端パッケージング分野においては、シンガポール科学技術庁との共同開発を通じて、量産展開への最大の課題となっているコストの低減を実現します。

FPD製造装置

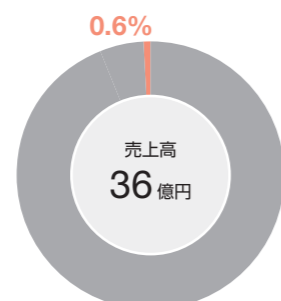
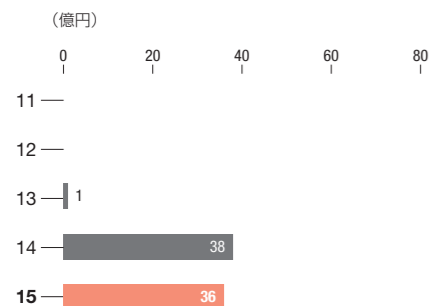


2014年のフラットパネルディスプレイ (FPD) 市場は、テレビやスマートフォン画面の大型化と高精細化により、FPD全体の面積需要が前年比10%近い伸びとなりました。これにより、中国における大型パネル向け設備投資が伸長し、FPD製造装置市場も前年比20%増加と堅調に推移しました。

- ▶ 部門売上高：前年比15.5%増加の327億円
- ▶ 中国向け売上が全体の約5割以上
- ▶ 高精細な大型パネル向けで優位性のある誘導結合プラズマ(ICP)エッチング装置の販売好調
- ▶ 有機ELパネル製造用インクジェット描画装置が顧客の開発ラインで採用

テレビやスマートフォン画面の大型化や4K等の高精細化への高い需要に加え、車載ディスプレイやウェアラブル端末の市場拡大も期待されるなど、ディスプレイの面積需要は今後も継続して拡大することが予想されています。このような状況のもと、2015年のFPD製造装置市場は、大型パネル向け設備投資の継続に加え、モバイル用途の中小型パネル向け投資も増加することで、前年比20%の増加を見込んでいます。一方で、ディスプレイの高精細化に伴い、薄膜トランジスタ(TFT)基板には、従来のアモルファスシリコンに代わって低温ポリシリコン(LTPS)や酸化物半導体(IGZO)の採用が進んでいます。当社は、こうした新しい材料に対応した技術的に優位性をもつICPエッチング装置の拡販により、今後も継続して収益拡大に取り組めます。また、次世代ディスプレイとして期待されている有機ELディスプレイについては、大型基板対応の有機ELパネル製造用インクジェット描画装置により、顧客の生産性向上とコスト低減を実現し市場拡大を目指します。

PV製造装置



世界の太陽光発電の導入量は、世界的な環境意識の高まりとエネルギー問題を背景に、年々拡大し続けています。しかし、生産設備に関しては、世界的に供給過剰の状態が続いています。

- ▶ 部門売上高：前年比4.9%減少の36億円
- ▶ 事業撤退は計画通りに進捗

当社は、薄膜シリコン太陽光パネル製造装置の市場参入を目的として、2009年にスイスのOerlikon Solarと販売代理店契約を締結し、2012年には同社を買収し事業成長を目指しましたが、今後の事業環境においても投資回収が見込めないと判断し、2014年3月末をもって同装置の製造開発および販売活動を終了しました。今後は納入済み装置のサポートのみを継続し、当セグメント損失をより一層縮小できると見込んでいます。

2011年3月期から2012年3月期まで、PV(太陽光パネル)製造装置の売上はFPD製造装置の売上を含めて表示しています。